

研究専攻（専門領域）		文化環境研究専攻(文化人類学)		学籍番号	08CS014
氏名	古川勇氣	ローマ字	FURUKAWA Yuki	国籍 (留学生)	
修士学位論文名	男女の役割分担からみる農民の経済メカニズム -ペルー、カハマルカ県、ラ・エンカニャーダ小盆地の農民を事例として-				
提出年月日	2010年 1月 12日		指導教員	井口 欣也	
体裁 (論文)	90頁 (1頁文字数 1400字)		言語	日本語	
別冊添付資料等	なし				
キーワード	世帯 戦略的意図 マーケット 男女の役割分担				
<p>本論ではペルー、カハマルカ県、カハマルカ郡のラ・エンカニャーダ小盆地における農民の生産システムと彼らの経済メカニズムを追究することを目的とした。</p> <p>研究方法としては、その地域の農民の世帯内関係まで含めた包括的な視点から、彼らの世帯戦略活動を提示し、さらに彼らの経済活動に関わるアクター同士の関係性から彼らの戦略的意図と社会やマーケットの相互の関係性を明示するという手順を用いた。</p> <p>研究対象のペルー、カハマルカ県のラ・エンカニャーダ小盆地は、カハマルカ県の主要な酪農地域の一つであり、その地域の多くの農民が酪農を営んでいる。</p> <p>そして分析としては、その地域の農民の世帯戦略活動の理解のために、4つの視点(生産、交換活動、世帯内関係、牛乳市場)から彼らの経済活動を捉えた。その結果、彼らの生産システムは次のようになった。その地域の小規模農民は複合的な経済活動によって収入のリスクを分散させており、その経済活動には男女の役割分担が明確に存在する。一方でその地域の大規模農民は労働力雇用と灌漑整備への「投資」に基づく酪農によって高額な収入を得ており、その収入をもとに大規模な農業や畜産業を営んでいる。彼らの経済活動には男女の役割分担は見られず、家長(男性)の決定権が強大である。</p> <p>さらにその農民の経済メカニズム解明のために、マーケットでのアクター同士の関係性から彼らの戦略的意図と社会やマーケットの相互関係を議論した。</p> <p>その結果、資本が乏しいその地域の小規模農民は地域マーケットで経済活動をおこなっている。その地域の牛乳マーケットでは詐欺などの経済活動が横行しており、経験的な商業ノウハウが牛乳販売には必要である。そのため世帯内で女性が実践を通じてそのノウハウを子どもに教えており、そのように経験的な商業知識で牛乳販売をおこなうため地域マーケットには明確なルールは存在しないという相互関係が見られた。一方で資本が豊富なその地域の大規模農民が主に経済活動をおこなう国内マーケットは男性優位の傾向にあるため、生乳加工会社との契約は男性がおこなう。家計の大半がその牛乳販売の収入で占められるため男性の決定権は強大であり、その決定権に基づく円滑な労働指令による牛乳の大量生産が今日のカハマルカ県の酪農産業を支えているという相互関係が見られた。</p> <p>結論としては、ラ・エンカニャーダ小盆地の酪農を営む農民世帯では、歴史的・文化的には家畜の世話や牛乳販売は女性の責任・判断のもとでおこなわれてきたが、世帯の生産の拡大に伴って乳牛の世話や牛乳販売は男性の責任・決定のもとでおこなわれているという関係性を提示した。</p> <p>これまでの農民研究では、市場経済活動は農民の意思決定における外的要因の一つとしてしか考えられておらず、彼らマーケットでの経済活動にまで目を向けた研究は乏しかった。そのためマーケットでの農民の経済活動をもとに、彼らの戦略的意図と社会やマーケットとの相互の関係性を明らかにしたことに本論の農民研究への貢献が考えられる。</p>					